

子の不登校 親はどうする？



子どもの不登校に関する悩みを聞き、経験を語るアドバイザーら＝8日、福井市の福井大文京キャンパス

福井大で質問会 専門家ら助言

子どもの不登校に関する悩みを専門家や不登校経験者に相談する質問会が8日、福井市の福井大文京キャンパスにある教育実践総合センターで開かれた。家族や支援者ら約40人が参加、本人の思いを尊重し親子関係を保つ方法に理

解を深めた。福井市内でフリースクールを運営する小野寺玲さん(30)ら有志でつくる「不登校ベイスキャン」と、福井大、福井医療大、福井弁護士会の「子どもの悩み110番」が企画した。不登校経験のある小野寺さん、支援に携わる小児科医の坂後恒久さん(68)、子どもが不登校だった母親ら5人がアドバイザーを務めた。参加者の一人は「息子が学校に行っていない。ゲームをして過ごしているが、時間を制

限した方がいいのかと質問。坂後さんは「不登校の子は家にいても気が休まらない。ゲームをしている間は時間を忘れられる」と説明。小野寺さんは「ゲームが好きなら、オンラインゲームが家族以外の人とつながるきっかけとなり、状況が好転する突破口になることもある」と話した。息子が暴れる時期があったというアドバイザーは、「よみ取り見守る大切さを説いた。(黒川かおり)